



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ システムズ、Adobe Creative Suite 5.5 Design Premium と Design Standard を発表

Design Suite の主要な機能強化を通じ、モバイルデバイスとタブレット向け コンテンツの爆発的な増加に対応

【2011 年 4 月 11 日】

アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下 アドビ システムズ）は本日、Adobe® Creative Suite® 5.5 Design Premium および各構成製品の提供が、2011 年 5 月 20 日（金）からアドビストアおよび全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて開始されると発表しました。本日からアドビストアならびに主要販売代理店各社では、同製品の予約受付けを開始いたします。また同時に、CS5.5 発売記念キャンペーンを実施いたします。詳細は <http://www.adobe.com/jp/joc/store/campaign/> をご参照ください。

Adobe Creative Suite 5.5 Design Premium は、インパクトのある作品を短期間で制作しつつ、画面の形状やサイズを問わずあらゆる端末を対象に、視覚的な表現力にあふれ、臨場感のあふれるユーザー体験の提供を可能とするデザイナー向けの業界標準ソフトウェアの最新バージョンです。

Creative Suite 5.5 Design Premium は、Adobe InDesign®、Adobe Dreamweaver®、Adobe Flash Professional、Adobe Flash® Catalyst™ のアップデート版と、Adobe Acrobat® X Pro、Adobe Illustrator® CS5、Adobe Photoshop® CS5 Extended、Adobe Fireworks® CS5 で構成されます。Design Premium と同時に Adobe Creative Suite 5.5 Design Standard の最新版も発表しました。

アドビ システムズは、新たにサブスクリプションによるお求めやすく柔軟な価格プランの提供を開始しました。これは、最新の Creative Suite 製品を入手して活用したいと考えるユーザーや、プロジェクト単位のニーズを持つユーザー、初めて Creative Suite 製品を試用したいと考えるユーザーにとって最適なプランです。新たに導入されたサブスクリプションにより、ユーザーは全額を前払いする必要なく本ソフトウェアの最新版を常に使用することができます。サブスクリプションの価格設定により Adobe Creative Suite 5.5 Design Premium は月額 12,000 円* で使用することができます。

*年間プランにおける月額料金となります。サブスクリプション価格の詳細は http://www.adobe.com/go/cs55subscription_jp をご覧ください。

アドビシステムズ社のクリエイティブ兼インタラクティブソリューション担当シニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーであるデイビッド ワドワニ（David Wadhvani）は、「当社のデザインスイートによって、出版社は紙媒体だけでなく、今後はタブレットのインタラクティブフォームでも、読者や広告主の出版物への要求基準を満たすことができるようになります。当社のコンテンツオーサリングツールは、Condé Nast、Martha Stewart

Living Omnimedia、National Geographicなどの業界リーダー各社に採用されており、これらの企業はアドビシステムズ社のソフトウェアを活用し、人気タイトルをデジタル時代向けに作り直しています」と述べています。

タブレットやスマートフォンで驚愕のデザインを実現

Creative Suite 5.5 Design Premium を使用することで、デザイナーは臨場感あふれるデジタル雑誌や動画と音声^{*1}を組み込んだ洗練された電子書籍、HTML5 や CSS3 の規格をベースとした世界トップクラスの Web サイト、AndroidTM、BlackBerry[®] Playbook、iOS の各種デバイスで一貫した表示を実現する Flash ツールを組み込んだインタラクティブなモバイルアプリケーションを開発できます。Dreamweaver CS5.5 の最新機能（ライブビューモード、CSS パネル、マルチスクリーンプレビューパネル）によって、様々なデバイスでの視聴用に最適化する必要のある Web サイトのデザインが合理化され、デザイナーはデスクトップ、タブレット、スマートフォンの各種ブラウザのプレビューを横に並べた形で行うことができます。

Adobe Digital Publishing Suite^{*2} と連携した InDesign の新たな Folio Builder ツールにより、クリエイティブプロフェッショナルは表現力豊かでインタラクティブなデジタル版の雑誌、新聞、企業出版物、広告をデザインし、Apple iPad、BlackBerry PlayBook^{*3} などのタブレット機器や様々な Android タブレットなどの各種タブレット機器での表示に対応させることができます。InDesign CS5.5 と統合ツールセットの Folio Producer をあわせて使うことにより、デザイナーはかつてない水準のインタラクティブ性をページレイアウトに追加することができます。タブレット機器を対象とするドキュメントには、ビデオ、オーディオ、パノラマ画像、360 度のオブジェクト回転、画像のパン・ズーム、HTML5 コンテンツの統合など、インタラクティブな要素を不可することができるようになります。さらにデザイナーは、制作したコンテンツが各種タブレット上でどのような操作感になるのかを InDesign 内から直接、かつ簡単にプレビューと動作確認ができます。InDesign 内でコンテンツオーサリングが完了すると、Adobe Digital Publishing Suite との緊密な連携機能によって、Digital Publishing Suite のアカウント（別途提供）を持つユーザーはタブレット向けのコンテンツの制作、配信、最適化、課金を効率的に行うことができます。InDesign では数多くの機能が強化されているため、Barnes and Noble Nook、Sony Reader、Apple iPad などの電子書籍デバイスでの読書体験が向上します。デザイナーは今後、洗練されたタイポグラフィ、あらゆる端末の画面に合わせてサイズを自動変更する画像、HTML5 による動画や音声タグをサポートした電子書籍リーダーアプリケーション向けに動画と音声を追加できます^{*1}。

Flash Professional CS5.5 に加わった新機能によって、デザイナーやデベロッパーは iPhone、iPad、Android の各種デバイスと BlackBerry Playbook に対応したモバイルアプリケーションを開発できるようになります。こうしたアプリケーションは、Apple の iTunes App Store、Google Marketplace、BlackBerry AppWorld などのアプリケーションマーケットを通じ、簡単に開発することができます^{*4}。

デスクトップ以外でも効率化を実現

アドビシステムズでは、クラウドサービスや新たなタブレットアプリケーションのサポートによって生産性を拡大し続けています。Creative Suite 5.5 Design Premium は、Photoshop 向けの新たなタブレットアプリケーションと連携してクリエイティブのワークフローを効率化し、デザイン体験をデスクトップ以外にも拡大します。Adobe Photoshop の最新の

スクリプトエンジンと強化された Photoshop Software Development Kit (SDK) によって、Android、BlackBerry、iOS の各種デバイスから Photoshop を操作するタブレットアプリケーションを開発できます。アドビ システムズはこの新たな SDK により、Adobe Color Lava (アドビカラーラバ) for Photoshop、Adobe Eazel (アドビイーゼル) for Photoshop、Adobe Nav (アドビナビ) for Photoshop という 3 つの新たな iPad アプリケーションを開発しました。これにより、タブレットを用いて共通の Photoshop ワークフローを実行するというクリエイティブの新たな可能性が示されました (別途リリース参照)。Creative Suite 5.5 Design Premium は、共有レビューなどの主要なプロジェクトワークフローを高速化するホスト型サービスのセット、CS Live^{*5}とも連携しています。

品質やコントロールを犠牲にすることなく、クリエイティブアイデアを素早く表現

Creative Suite 5.5 Design Premium では、Creative Suite 5 で導入された数多くの時間を節約するための機能がさらに強化されているため、日常タスクのさらなる効率化が実現します。Photoshop CS5 Extended の「コンテンツに応じた塗り」機能は、画像から細部や不要なオブジェクトを取り除いて残された空間を埋めることで、取り除かれたコンテンツが最初から存在しなかったような画像を実現します。Illustrator CS5 には、線幅ツールや使いやすくなった矢印ツール、破線コントロール、絵筆ブラシ、コーナーコントロール付きブラシなど、強力な機能が多数採用されています。そして、InDesign CS5 で導入された、簡素化されたオブジェクト選択や編集機能によってページのレイアウトプロセスが高速化されます。デザインするドキュメントが印刷用であれ、画面表示用であれ、あるいはその両方であれ、コーナーエフェクト調整用のオブジェクト間のスペース調整、分配によるすべての作業は、InDesign 内で高速かつ簡単におこなえます。また、Acrobat X Pro の追加により、カスタム PDF ポートフォリオ、ガイド付きアクションウィザード、ユーザーインターフェイスの強化が実現しており、プロ仕様の PDF ドキュメントの作成、保護、提供をかつてない高い効率で行うことができます。

Clear Magazine の設立者でクリエイティブディレクターのエミン カディ (Emin Kadi) 氏は、「独立系印刷雑誌出版のパイオニアである当誌は、業界初のクリアカバーや史上初の磁性紙を提供するとともに、画期的な Web サイトやモバイルデバイスのユーザー向けに完全にカスタマイズされた体験を構築しています。今後は Creative Suite 5.5 Design Premium の最新ツールを活用し、360 度の製品ビュー、スライドショー、動画の組み込み、ポップアップテキストなど、まるで TV のチャンネルのような魅力的な体験を iPad などのタブレット上で提供していくことで、テクノロジーとデザインの最先端をめざしていくことができます」と述べています。

製品に関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/design>

アドビストア提供価格 (税込)

- **Suite 製品のアップグレード版「C」のパッケージ版はアドビストアのみでの取り扱いになります。ライセンス版については販売代理店各社からご購入いただけます。**
- **すべての単体製品の特別提供版は、アドビストアのみでの取り扱いになります。**
- **アドビストアでは、各製品のダウンロード版も提供しています。ダウンロード版は本体価格のみ (消費税抜きの価格) でご購入いただけます。**
- **全ての Suite 製品には、一定期間無償でご利用いただける CS Live オンラインサービス**

(要登録)が含まれます。CS Live オンラインサービスには、ブラウザ互換テストのための BrowserLab、デザインワークのレビュープロセスが行える CS Review、使用デバイスやブラウザ、OS のシェアなどの最新動向を把握できる SiteCatalyst NetAverages などが含まれます。

ADOBE® CREATIVE SUITE® 5.5 DESIGN PREMIUM (Windows® 版 / Macintosh® 版)

- 製品版 249,900 円 (本体価格 238,000 円)
- アップグレード版「S」 58,800 円 (本体価格 56,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 5 からのアップグレード
- アップグレード版「A」 98,700 円 (本体価格 94,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 4 からのアップグレード
- アップグレード版「B」 134,400 円 (本体価格 128,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 2、または 3 からのアップグレード (Macromedia® Studio 8 及び Adobe Creative Suite Production Studio を含む)
- アップグレード版「C」 198,450 円 (本体価格 189,000 円)
- ※ 対象となる単体製品からのアップグレード
- 学生・教職員個人版 100,380 円 (本体価格 95,600 円)

構成製品：Adobe Acrobat X Pro 日本語版、Adobe Photoshop CS5 Extended 日本語版、Adobe InDesign CS5.5 日本語版、Adobe Illustrator CS5 日本語版、Adobe Dreamweaver CS5.5 日本語版、Adobe Fireworks CS5 日本語版、Adobe Flash Catalyst CS5.5 日本語版、Adobe Flash Professional CS5.5 日本語版

ADOBE® CREATIVE SUITE® 5.5 DESIGN STANDARD(Windows® 版 / Macintosh® 版)

- 製品版 198,450 円 (本体価格 189,000 円)
- アップグレード版「S」 50,400 円 (本体価格 48,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 5 からのアップグレード
- アップグレード版「A」 84,000 円 (本体価格 80,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 4 からのアップグレード
- アップグレード版「B」 108,990 円 (本体価格 103,800 円)
- ※ Adobe Creative Suite 2、または 3 からのアップグレード (Macromedia® Studio 8 及び Adobe Creative Suite Production Studio を含む)
- アップグレード版「C」 140,910 円 (本体価格 134,200 円)
- ※ 対象となる単体製品からのアップグレード
- 学生・教職員個人版 67,830 円 (本体価格 64,600 円)

構成製品：Adobe Acrobat X Pro 日本語版、Adobe Photoshop CS5 Standard 日本語版、Adobe InDesign CS5.5 日本語版、Adobe Illustrator CS5 日本語版

Creative Suite のサブスクリプションには、年間プランと月々プランの 2 種類があります。サブスクリプションについての詳細は、http://www.adobe.com/go/cs55subscription_jp をご覧ください。

*1 InDesign は、音声や動画などの先進機能を採用した電子書籍の制作で EPUB3 と HTML5

のコードを使用します。EPUB3 と HTML5 の表示、メディア再生、2 バイト文字のサポート (中国語、日本語、韓国語等) は、すべてのデバイス、ブラウザ、EPUB リーダーには対応しない可能性があります。

※² Adobe Digital Publishing Suite には、別途ライセンスと関連手数料の支払いが必要です。詳細については、www.adobe.com/products/digitalpublishingsuite をご覧ください。

※³ Content Viewers iOS と Android タブレット用 Adobe AIR® は現在提供中、BlackBerry Playbook 版は近日登場予定です。

※⁴ Apple の現在の要件ならびに承認に影響をうける場合があります。

※⁵ CS Live オンラインサービスは、期間限定で無償提供されます。詳細については、www.adobe.com/go/CSLive_jp をご覧ください。Adobe CS Live サービスを含む Adobe オンラインサービスは、13 歳以上のユーザーのみを対象としており、アドビ システムズ社のオンラインプライバシーポリシー (http://www.adobe.com/go/terms_jp) の追加条件に同意する必要があります。オンラインサービスは、すべての国または言語で提供されるものではなく、ユーザー登録が必要となる可能性や、予告なしに変更または中止される可能性があります。追加の手数料やサブスクリプション料金が必要となる場合もあります。

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包したアドビ システムズ社の将来の製品計画に関連した将来的観測を含みます。これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビ システムズ社が証券取引委員会 (SEC) に提出した書類をご参照ください。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Audition, Creative Suite, Dreamweaver, Fireworks, Flash, Flash Catalyst, InDesign, Illustrator, Photoshop and SiteCatalyst are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.